

めあてを高く  
できるまで やれ

岡崎市立梅園小学校  
校長室だより 3

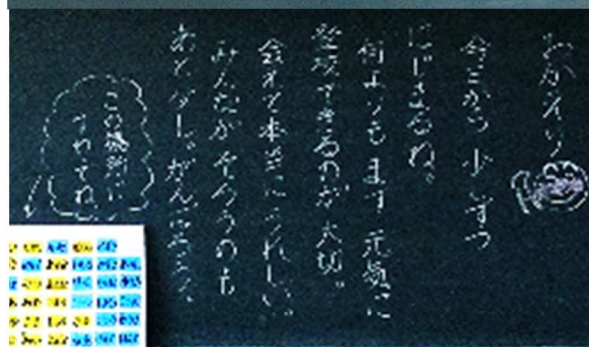
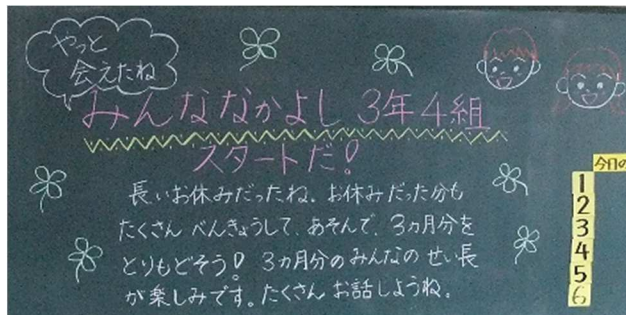
令和 2年 6月 8日  
こん どう ふみ ひこ  
近 藤 文 彦



## 「分散登校」から「全員登校」へ

5月11日(月)から14日(木)に行った課題配付については、御協力ありがとうございました。その期間に希望された保護者の方とは担任との面談もできました。自主登校教室に来ている児童のノートには、「保護者による手作り課題」がたくさん書かれています。飽きないように工夫しており、この時間に少しでも力をつけてほしいとの願いが伝わりました。学びを止めてはならないと強く感じました。

そして、5月21日(木)から4分の1の児童による分散登校が始まりました。各学級担任は、児童へのメッセージを黒板に書いたり、密にならないように机の配置を工夫したりしました。1日ごとは10名程度の少ない人数でしたが、4日間で全校児童が登校しました。高学年の学級では、登校した児童が黒板にメッセージを書くところもありました。また、ある教室には、「あ・い・さ・つ」の下に「あかるく」「いきいき」「さりげないやさしさ」「つたえる」を意識して生活しようとして書いてありました。担任の思いは伝わったでしょうか。5月27日(水)・28日(木)の2日間は、2分の1の児童による分散登校が行われました。最後に、29日(金)には全員が登校し、6月1日(月)からの終日7時間授業の学校再開に向けての準備を行いました。



【教室・黒板の様子】

分散登校から旗当番  
ありがとうございます。

【登校の様子】

# 感染防止日常化へ…手洗いの重視

新型コロナウイルスに自分が感染しない、周りに感染させない新しい生活様式については、分散登校時に各教室で確認してもらいました。単に「ソーシャルディスタンス」を説明しても、どうして何のために行うのかわからなければ、考えて実践することはできません。子供たちの発達段階に合わせて指導してもらいました。トイレや流しで順番を待つ際の位置関係について、実際に確認している学級もありました。このような学習と実践の繰り返しで、だんだんと新しい生活様式が自然に、どこでもできるようになるとよいと考えています。しかし、実際に子供たちが活動している姿を見ると、難しい様子が見受けられます。では、何を一番大事にすればよいのでしょうか。私は、「手洗い」を重視することが大切だと考えています。医師が診療に当たっているときのように「正しい手洗いをこまめに行う」ことでウイルスを体内に取り込む機会が減るはず。ぜひ、家庭でも同じように実践してほしいです。



【距離をとって並ぶ】

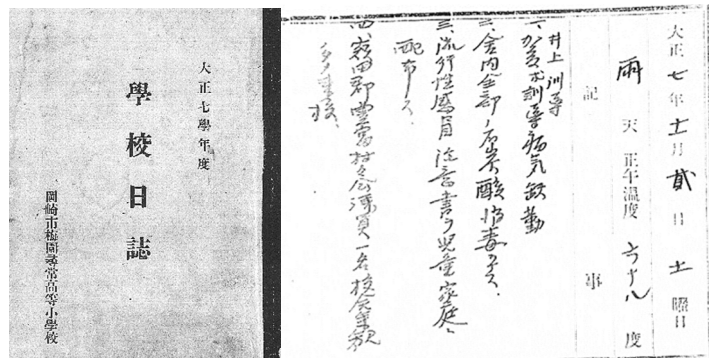
保健室の前には、軍手を使って立体的に作られた手洗いの掲示物があります。家庭でも正しい手洗い方法の確認をお願いします。先日市教委施設課の方が流しの様子を確認にみえました。1年の女子児童の丁寧な手洗いの様子を見て、感心して見えました。周りを感染させない・自分が感染しないために、正しい手洗いを心がけたいです。家庭でも常に正しい手洗いの実践をお願いします。



【保健室前の手洗いの掲示物】

## スペイン風邪では…

100年ほど前に世界中で大流行した「スペイン風邪」では、本校はどう対応したのか調べてみました。本校の「大正7年度 学校日誌」には大正7(1918)年11月1日(金)には、全校751人のうち212人が欠席し、11月2日(土)から11月17日(日)まで休校措置をとっています。2日にはすべての教室を「石炭酸消毒」し、「流行性感冒注意書」を児童の家庭に配付したと記載されています。100年前は、16日間の休校措置しかありませんでした。日本では38万人が死亡したスペイン風邪と比べても、今回の新型コロナウイルスの影響は大きいことがわかります。



【大正7年度 学校日誌(岡崎市梅園尋常高等小学校)】